

第39回 全日本少年大会東京都 10 ブロック大会要項

日程 平成 27 年 10 月 12 日, 17 日, 18 日 (予備日 24 日)

会場 府中少年サッカー場、砂川中央グラウンド

大会方式 1. リハウスリーグの成績順位に基づき別紙のとおり組み合わせを決め、16 チームによるトーナメント戦をおこなう。

1~4 位を中央大会へ推薦する。ただし、推薦に値しないとブロック役員会で判断した場合はベスト 8 のチームから推薦する場合がある。

2. 同点の場合は、3 人による PK 戦にて勝者を決定する。但し、決勝戦は前後半各 5 分の延長戦をおこなった上、なお同点の場合は PK 戦にて勝者を決定する。

競技規則 1. 下記 2 項から 8 項以外は、日本サッカー協会「2015/2016 競技規則」による。

2. 8 人制による競技とする。登録選手の中から試合ごとに 8 人~16 人をエントリーできる。

競技者が退場を命じられた場合、競技者チームは競技者を補充する。ピッチ上では常に 8 人いなければ参考試合とする。参考試合は、相手チームに得点 3 を与え、当該チームの得点は 0 とする。本大会で退場を命じられた場合、次の 1 試合に出場できない。警告回数が 2 に達した場合も同処置とする。

3. 試合時間は、20-5-20 分とする。

4. ピッチの大きさは、縦 68m×横 50m を基本とする。できる限りこの大きさにすることが望ましいが、やむをえない場合は各会場の責任者に一任する。

5. 試合球は 4 号ボール (各チームより抛出。空気圧 0.8) を使用。スパイクは固定式に限る。

6. 交替は、交替ゾーンを使用し、主審に通知することなく交替できる。但し、ゴールキーパーの交替はアウトオブプレー中に主審の許可を得て行う。

7. 試合の際、ベンチには監督 1、コーチ 2 の 3 名とその試合のエントリーした選手だけが入る。

指導者はメンバー表に登録し最低 2 名入らなければならない。試合途中やむを得ない事情で 2 名未満となる場合は別の指導者を補充できるが、できない場合は参考試合として扱う。なお、交替要員はユニフォーム姿のままベンチに座らないこと。

8. キックオフから直接得点することはできない。キックオフからのボールが直接相手ゴールに入った場合は相手チームのゴールキックで再開する。

審判 1. 主審 1 名、補助審 1 名の 2 人制でおこなう。

2. 原則、全試合審判部にてとりおこなう。

注意事項 1. 悪天候による中止等は、当日の第 1 試合開始 2 時間 30 分前までに決定する。(ただし、現地集合後の順延決定もあり得る)

2. 会場準備は、会場責任チームが中心となり、第 1 試合、第 2 試合のチームから各 2 名以上の協力によりおこなう。遅くとも第 1 試合開始 1 時間 30 分前には集合すること。

3. 参加チームによる代表者ミーティングを第 1 試合開始 30 分前におこなう。

4. メンバー表は試合開始 30 分前までに 2 枚を本部に提出する事。(連続で試合を消化する場合は、速やかに提出) 選手証も併せて提出すること。ユニフォーム正副も持参すること。

5. メンバーチェックは、メンバー表に記載されている選手について各試合開始 10 分前、本部に集合しておこなう。第 1 試合については試合開始 15 分前よりおこなう。

6. 第 1 試合のチームには、試合開始 20 分前から 15 分前までの 5 分間ピッチの使用を認める。

7. ユニフォームは色の異なる正副 2 着 (正副で番号が違うものは可・来年度からは不可) を必ず用意すること。また、胸番は必ず付いていること。なお、当該チーム第一試合の際に上記の件が守られていない場合は失格とする場合がある。

8. 各会場の注意事項をしっかりと把握すること。応援は本部にて決められた場所にておこなうこと。特に駐車制限台数、スペースを守り (路上駐車厳禁)、必ず「駐車票」を掲示すること。違反した場合大会の失格や今年度、来年度の各大会のエントリーを剥奪することもある。

9. 片付けは、最終試合の 2 チームが本部の指示に従い行うこと。